



# 日 鶏 協 ニ ュ ー ス

一般社団法人日本養鶏協会 2022年5月号

## INDEX

・高病原性鳥インフルエンザ 関連情報	1
・鶏卵需給見通しについて（令和3年度2回目）	3
・鶏卵生産者経営安定対策事業費補助金交付等要綱の制定について	4
・【速報】 国際養鶏養豚総合展 2022 出展	4
・統計データ	5
・協会活動報告	6

## 高病原性鳥インフルエンザ 関連情報

### 北海道で6年ぶりの発生、4月に入っても東北・北海道で続発

#### — GW明け後も引き続き強い警戒感が必要

4月号でお伝えしましたが、東北・北海道地域に野鳥、特にカラスの死体などから継続的に高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1亜型）が検出されており、まだ今季の鳥インフルエンザのシーズンは終わっていないと農林水産省が注意喚起していたところですが、4月に入ってから、東北、北海道で高病原性鳥インフルエンザが続発しています。



鳥インフルエンザウイルスが過去最多で検出されているハシブトガラス

こうしたことから農林水産省は、5月の連休頃までは高病原性鳥インフルエンザの発生リスクは高いことを念頭に、今なお全国のどこで発生してもおかしくない状況であることを今一度認識し、引き続き緊張感をもって飼養衛生管理基準の遵守をはじめ衛生対策の徹底をお願いしたいとしています。

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) 人・車両等による侵入の防止     | (5) 鶏の健康管理及び取扱い       |
| (2) 野鳥・野生動物による侵入の防止   | (6) 鶏糞の処理             |
| (3) 飲用水・飼料の汚染による侵入の防止 | (7) 鳥インフルエンザに対する理解と教育 |
| (4) 鶏舎内外の整理・整頓・清掃     |                       |



## 令和4年 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況（令和4年1月～）

地域	疑似患畜判定日	用途	羽数	亜型
愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約 8.3 万羽	H5N1
愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約 14.2 万羽	H5N1
愛媛県今治市（関連農場）	-	採卵鶏	約 0.6 万羽	-
鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約 5.4 万羽	H5N1
鹿児島県長島町（関連農場）	-	肉用鶏	約 5.7 万羽	-
千葉県八街市	1/19	肉用鶏	約 6.6 万羽	H5N1
千葉県匝瑳市	1/26	あひる	約 0.17 万羽	H5N1
千葉県匝瑳市（関連農場）	-	あひる	約 0.12 万羽	-
茨城県かすみがうら市（関連農場）	-	あひる	約 0.11 万羽	-
埼玉県春日部市（関連農場）	-	あひる	約 0.14 万羽	-
埼玉県熊谷市（関連農場）	-	あひる	約 0.04 万羽	-
岩手県久慈市	2/12	肉用鶏	約 4.5 万羽	H5N1
宮城県石巻市	3/25	肉用種鶏	約 3.2 万羽	H5
青森県横浜町	4/8	肉用鶏	約 17 万羽	
青森県横浜町	4/15	肉用鶏	約 11 万羽	
北海道白老町	4/16	採卵鶏	約 52 万羽	
北海道網走市	4/16	だちょう（エミュー） 採卵鶏	約 500 羽 約 100 羽	
秋田県大仙市	4/19	採卵鶏	約 400 羽	
北海道釧路市	4/26	だちょう（エミュー）	約 100 羽	

■ [鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

■ [高病原性鳥インフルエンザに関する情報（環境省）](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

[https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)



## 鶏卵需給見通しについて（令和3年度2回目）

令和3年度第2回目の「鶏卵の需給見通し（令和4年3月）」を3月末日に発刊いたしましたので、ポイントをご紹介します。

詳しくは、冊子をご覧ください。

### ■ 鶏卵の需給見通し

[https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/keiran202203\\_01.pdf](https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/keiran202203_01.pdf)

#### 1. 最近の動向

消費動向について、2021年は2020年と比較して家計消費と業務用が減少傾向となり、加工用が増加傾向となった。

供給動向について、雛の餌付け羽数において、2021年は前年比100.8%と微増となった。

配合飼料の動向について、2021年の出荷量は前年比98.2%となった。飼料価格は、年間を通じて高値で推移したため、配合飼料価格安定制度による補填が第1四半期より発動となった。

輸入動向について、2021年輸入量は、前年比106%となり、製菓・製パン業者における輸入粉卵へシフトした影響等が要因となっている。

価格の動向について、2021年は、年初の高病原性鳥インフルエンザの発生による大量殺処分等により、産地在庫が品薄となり、4月以降は標準取引価格（月ごと）が200円を超えて推移したため、価格差補填事業並びに成鶏更新・空舎延長事業の発動はなかった。

輸出の動向について、2021年の輸出量は、輸出先の消費者に日本産鶏卵の魅力や価値が認知されてきており前年比121%の増加傾向となった。

#### 2. 今後の需給見通しについて

2022年の需要については、今後のコロナ禍からの回復は不透明であるが、巣ごもり需要の継続や新しい生活様式を視野に入れた見通しとなる。

ワクチンの追加接種（3回目）の進展により、感染・重症化予防効果が向上し、街に人流が戻れば、減少していた業務用消費の回復に繋がる。しかし、2020年に発生した高病原性鳥インフルエンザの影響で減少していた生産量が、2022年中に回復が見込まれることから、需給において供給過多となることが予想される。

なお、鶏卵生産者経営安定対策事業に加入している生産者並びに関係者の方々には、「鶏卵生産等に関するアンケート調査結果について」を冊子に同封し、調査内容の結果をお送りしておりますので併せてご覧ください。

### ■ 鶏卵生産等に関するアンケート調査結果について

[https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/keiran202203\\_02.pdf](https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/keiran202203_02.pdf)



## 鶏卵生産者経営安定対策事業費補助金交付等要綱の制定について

農林水産省は、令和4年4月1日付けで、鶏卵生産者経営安定対策事業実施要綱（平成23年4月1日付け22生畜第2067号農林水産事務次官依命通知）及び鶏卵生産者経営安定対策事業費補助金交付要綱（平成23年4月1日付け22生畜第2068号農林水産事務次官依命通知）を統合し、鶏卵生産者経営安定対策事業費補助金交付等要綱（3畜産第2032号農林水産事務次官依命通知）を制定しました。（内容については、当協会WEBサイトに掲載）

### ■ 鶏卵生産者経営安定対策事業費補助金交付等要綱（令和4年4月1日制定）

[http://www.jpa.or.jp/stability/pdf/20220401\\_02.pdf](http://www.jpa.or.jp/stability/pdf/20220401_02.pdf)

### ■ 鶏卵生産者経営安定対策事業

<https://www.jpa.or.jp/stability/>

## 【速報】 国際養鶏養豚総合展2022 出展

第9回目となる「国際養鶏養豚総合展2022」が、4月27日から3日間の日程で、ポートメッセなごやにおいて開催されました。

初日9：30からの開会式には、愛知県知事大村秀章氏、東海農政局局長小林勝利氏らの来賓挨拶の後、テープカットが行われました。

4年ぶりとなる本展示会には、初日より多くの来場者が詰めかけ、冊子：「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」が好評で、他の資料も含め準備した配布物が早々に底をつく事態となりました。

2日目午後には、黄色の「たまニコ」Tシャツを着た多くの関係者が見守る中、「たまニコAGAIN2022～日本縦断チャリリレー～」の出発式が行われました。そして5月以降に各地域でチャリリレーが開始されます。多くの参加者に恵まれた今回の総合展は4月29日に成功裏に幕を閉じました。

### 【開催概要】

名称：国際養鶏養豚総合展2022

会期：2022年4月27日（水）～29日（金・祝）

10：00～17：00 ※最終日のみ16：00まで

会場：ポートメッセなごや

主催：国際養鶏養豚総合展運営協議会

開催規模：約250社



2日目の夕方に各ブースを訪れる  
（公社）中央畜産会 森山会長。  
写真は当協会のブース

### ■ 国際養鶏養豚総合展2022

<https://ipps2022.com/>



## 統計データ



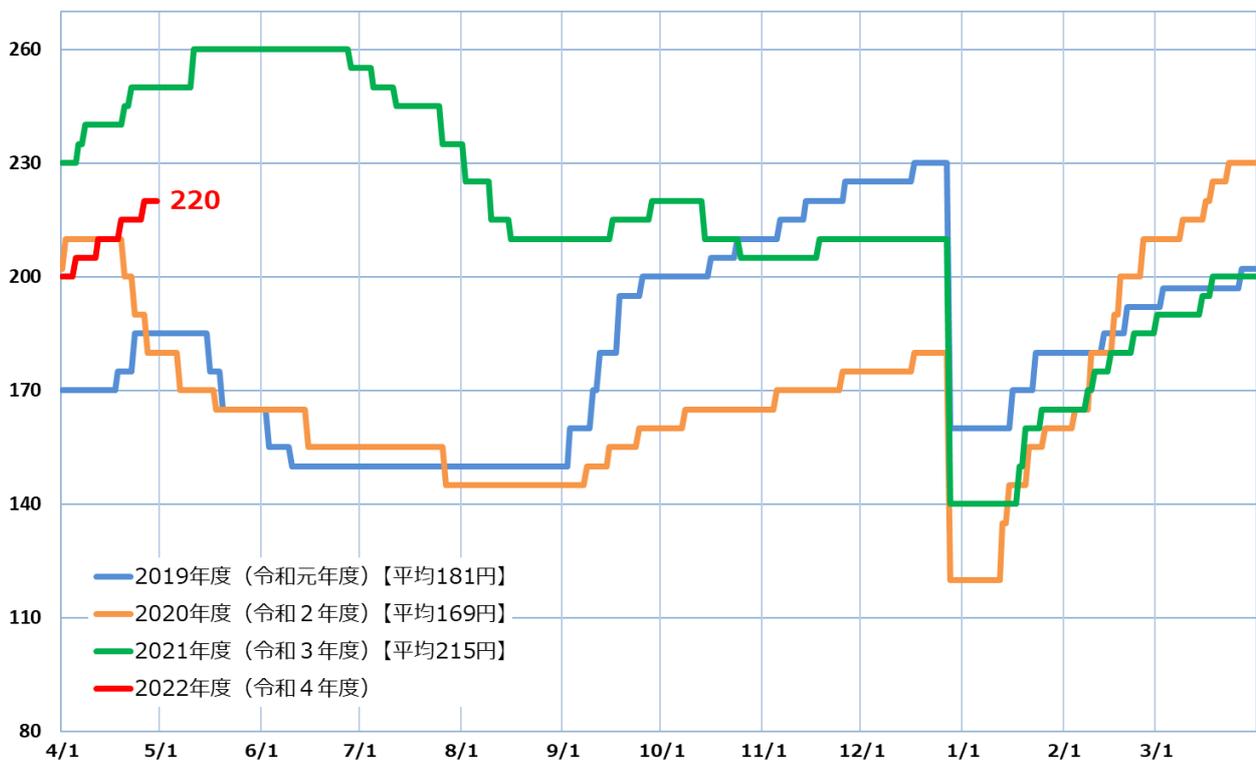
### 鶏卵相場動向 — 過去10年間の4月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成25年	172	198	164
平成26年	223	248	214
平成27年	227	253	214
平成28年	215	233	209
平成29年	227	250	214
平成30年	179	203	164
令和元年	174	203	164
令和2年	202	230	174
令和3年	241	270	224
令和4年	211	240	194
平均値	207	233	194

令和4年4月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値240円は、過去10年の平均値233円を7円上回り、安値194円は、過去10年の平均値194円と同値になっています。



### 鶏卵相場推移 2019年度～2022年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場（Mサイズ）は、4月初旬200円から毎週5円上がり、月末220円に上昇しています。



## 鶏卵関係主要計数 —— 令和4年2月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
3年 3月	9,040	89.4%	507	101.1%	943	93.0%	197	220
4月	9,654	103.9%	476	94.5%	978	94.4%	202	241
5月	9,183	95.6%	464	97.5%	1,004	97.4%	168	258
6月	10,083	107.8%	476	100.9%	882	94.3%	160	259
7月	9,867	100.0%	462	95.2%	903	93.5%	153	245
8月	8,140	98.1%	451	101.6%	915	98.3%	145	215
9月	8,924	111.2%	467	102.1%	902	99.3%	153	213
10月	9,696	108.0%	463	94.2%	942	95.9%	164	213
11月	9,057	101.2%	485	102.8%	924	97.4%	171	207
12月	9,574	111.3%	526	99.3%	946	93.9%	178	210
1月	8,535	100.2%	461	101.8%	927	97.5%	142	151
4年 2月	8,670	97.5%	450	102.4%	895	97.3%	183	175
1年間合計 平均(%)	110,423	102.0%	5,688	99.5%	11,161	96.0%	168(平均)	217(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,670千羽（前年比97.5%）と前年比2.5%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、450千トン（前年比102.4%）と前年比2.4%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、895グラム（前年比97.3%）と前年比2.7%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の8円安を示しました。

## 協会活動報告



### 鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

①価格差補填事業の事業参加者との  
契約数量（トン/月当たり）

令和 元年度	167,141
令和 2年度	163,160
令和 3年度	153,391
令和 4年度	149,558

②令和4年4月 標準取引価格 207.06円/kg

③鶏卵価格差補填事業

補填基準価格 181円/kg

安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会  
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)  
Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2022年5月9日  
編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)